

国民大運動行動報告

第050号
2021年
1月28日

「軍事費を削って、暮らしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～ 第204 通常国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催 1・27 定例国会行動 ～

いのちにかかわる重大な局面！ 第3次補正予算の大幅な組み替えを！



写真上右端 主催者を代表して挨拶をおこなう全労連 小畑雅子議長（国民大運動代表世話人） 衆議院第2会館前

年末から新型コロナウイルス感染拡大が急速に広がり、菅政権による緊急事態宣言の再発令がおこなわれるなか、農民連の藤原麻子事務局次長の司会のもとで、三者共催による第1回目の定例国会行動が時間を短縮して行われ、70名が参加しました。マイナンバー制度の中止・廃止を求める18,005人分の請願署名も、参加者を代表して全商連の中山眞常任理事により、高橋千鶴子衆議院議員に託されました。

第204通常国会は18日に開会し、25日から第3次補正予算の審議がおこなわれていますが、十分な補償もおこなわず後手後手にまわるコロナ対策や罰則規定を設ける特措法、感染症法の改定案など安倍政権以上に危険な菅政権を追い込み、いのちと暮らし優先の政治への転換をと参加者は決意を固めました。なお、当日は神奈川や埼玉デーなどの行動もおこなわれました。

市民と野党の共闘で野党連合政権の実現を！

主催者を代表して挨拶をおこなった全労連の小畑雅子議長(国民大運動代表世話人)は、第3次補正予算のうちコロナ対策はわずか4兆3,581億円で過ぎないとし、野党の組み替え動議を否決し衆院で成立させたことへの抗議とともに、「罰則を盛り込んだ特措法、感染症法改定案は感染症対策に逆行し社会に分断を持ち込むやり方だ」とつよく批判。直近の世論調査での支持率急落は冷たい菅政権への国

民の怒りだと指摘。22日に発効した核兵器禁止条約も「唯一の戦争被爆国である日本の態度が問われている」とし、「国民のいのちと暮らしに関わる重要な国会。市民と野党の共闘を発展させて野党連合政権を実現させよう」とよびかけた。

国民のいのちと暮らし最優先の政治を！

国会情勢報告をおこなった日本共産党の高橋千鶴子衆議院議員は、医療・介護や福祉の現場、国民の暮らしや雇用、営業など「これ以上もう頑張れないというところまできている実態だ」と訴えた。「補正予算を組むなら、こうしたことこそ思い切って予算を充てるべきだ」とし、維新以外の野党共同で組み替え案を出したことを報告。罰則規定を盛り込む特措法、感染症法改定案も4日程度の審議で終わらせようとしているとし「感染症への差別、偏見の歴史の反省の上にできた感染症法のなりたちからもあり得ないことだ」とつよく批判。「国民のいのちと暮らし最優先の政治をつくるために奮闘しよう」と呼びかけた。



写真上 署名を託す全商連の中山眞常任理事

総務省はマイナンバーをデジタル化社会へのパスポートだと言っているがとんでもありません。監視社会への悪魔の制度ではないでしょうか。菅政権のもとですめられるデジタル庁は、デジタル法案調査庁になる危険性さえあります。こうした策動を阻止するために力を合わせたいと思います

行動提起をおこなった国民大運動の渡辺正道事務局長は、政府与党内では2月下旬まで緊急事態宣言を延長するとの声もあるとして、「まさに予算審議というなかでの国会でもあり、3団体による時間調整、短縮を含め、2月10日、24日の行動は引き続きおこなっていきたい」とし、各団体への理解と協力を求めた。

おしまいに、全教の山田真平中央執行委員によるマイクを通してのみのコールにより、「予算の抜本組み替えで、十分な補償をおこなえ！」などと、参加者は国会に向けて怒りのこぶしを高く掲げました。

～ 第204通常国会(1/18～6/16) 今後の定例国会行動の予定 ～

- ◆ 12:15～13:00
- ◆ 衆議院第2議員会館前
- ◆ 隔週の水曜

緊急事態宣言中は、時間を短縮して12:15～12:45までの開催とします。

- ◆ 2月10日、2月24日、3月10日、3月24日、4月7日、4月21日、5月12日、5月26日、6月9日